



免荷リフトは転倒の恐れが強い方や筋力が弱い方、痛みのために体重が足にかけられない方を対象に理学療法士が立位・歩行練習に使用します。体重を免荷した上での歩行は多くの研究で報告があり、効果が期待されています。免荷リフトを使用することで患者様は安全に歩行練習をすることが可能となります。当院では 25mのレールを天井に設置しており、十分に安全な歩行練習ができています。さらにトレッドミル、平行棒も設置しているので、免荷装置を使用したままでランニングや坂道も実施することが可能になりました。実際の臨床場面では、介助量の多い患者様の歩行はもちろん、転倒リスクの高い患者様の「速歩、ランニング」等、今まで挑戦できなかったリハビリテーションを提供できると好評です。さらに当院では下記のような免荷付きの歩行器である POPO も各病棟に導入しております。